

国際映像メディア専門学校

学校関係者評価結果 (2025 年度)

1. 教育理念・目標

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	学校評価	学校関係者評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	明確な目標設定となっており、問題なし
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4	問題なし
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4	将来構想は描けていると思うが、現実的にそれをどこまで実際の教育に落とし込めるかが重要。時代の変化に対応するには職員の力量はもちろん、ジャンルの時には設備投資等も必要となるのではないか
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3	問題なし
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3	二段上の見解の通り

<本項目に関する現状>

- 常に最新の職業専門教育を提供するため、企業等と連携したインターンシップ等の職業実践型授業を実施している。
- 国際的な視野を養うため海外研修を必修化している。
- 教育理念や教育目標（目指すべき職業人、社会人への目標）は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。また、保護者には保護者会にて周知を図り、欠席者に対しては資料を送付し周知を図っている。

2. 学校運営

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	明確な説明を受けており、十分であると思われる。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	詳細な事業計画が策定されている
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	問題なし
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	3	問題なし
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	問題なし
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	問題なし
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	よりリアルタイムな公開・更新となるようにする必要がある
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	先端とまではいえない状況とのことであるが、可能な業務効率化は図られているような感じられる

<本項目に関する現状>

- 運営方針は学校責任者（部門長）によって作成される「ビジョンシート」に明記され、全教職員に周知される。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 校内においては職員会議を定期的を開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト、ブログ等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、学籍管理システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。

3. 教育活動

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4	教育課程編成委員会の見解や外部講師の見解も盛り込み、確実に策定されている。
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	2年間で実施可能なものは出来ていると思われるが、2年間は習得に十分な時間とは言えず、学生が卒業時に持つ知識・技術の質と量の担保が容易ではない。
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	問題なし
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	職業実践専門課程の理念に基づいたカリキュラム編成は充分に出来ている
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4	関係者会議の場だけでなく、日常的な連携が出来ている
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3	同上
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	授業アンケートの実施により学生の声をリアルに受けることが出来る
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	問題なし
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	「学生の手引き」により示されていることを確認した
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	資格取得がメインとなる学校ではないが、必須科目は出来ている
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	教員、非常勤講師、外部特別講師が確保できている
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	問題なし
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3	年間を通した各種の講習会、ワークショップ、セミナーを通して取り組んでいる
職員の能力開発のための研修などが行われているか	3	同上

＜本項目に関する現状＞

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 授業評価については年間２回（１学期・２学期）の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。

4. 学修成果

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
就職率の向上が図られているか	4	アーティスト、パフォーマーとしてプロを目指す学生が多く、必ずしも就職のみを目指すわけではないが、就職希望の学生の就職率は100%(2024 年度)を達成するなど、指導力は充分にある
資格取得率の向上が図られているか	3	必須の検定試験については、取得に向けた徹底対策を行っているが、目標に未達となる検定もあり、まだ改善の余地がある
退学率の低減が図られているか	4	退学率は非常に低い。2024 年度は退学者 4 名、2023 年度は 2 名と、同種他専門学校との比較では、10 分の1程度になっているとのこと。非常に価値のあることだと思われる
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	この点は十分に出来ているとは言えず、今後の課題であることが分かった。
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	同上

<本項目に関する現状>

- 就職担当スタッフがハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- 入学時からのビジネスマナー授業を基礎に、リクルートマナー、スーツ、メイクなども外部企業からの講師を迎え、全員に施している。
- 退学者は年間全在籍を通して 4 名。「退学者」、または退学には至らなかったものの「退学抑止対象となった学生」の傾向としては「精神的理由」が最も多く、鬱病等の診断による緊急回避の結果として退学となるケースが例年多い。各担任、スタッフによる、保護者も含めた細かい学生対応については高く評価している。
- 卒業生の成果についても学校ホームページなどで告知する他、授業やイベントなどにゲストをして招聘し、学校、在校生との連携を強くしている。また卒業生の所属する企業による現場にインターンで出るケースも多い。
- 全卒年次生に対し、税務署の指導員による「確定申告講座」を実施。フリーで動く事も多い分野の学校であるため、有効に機能していると言える。

5. 学生支援

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	担任や学校職員のみならず、非常勤講師、外部協力企業等とも連携した進路対策を行っており、問題はない
学生相談に関する体制は整備されているか	3	問題なし
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	各種の奨学金制度が完備されており問題なし
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	新型コロナやインフルエンザ等の法定伝染病の対応を行ない、校内での感染者の拡大などは起こらなかった
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	授業外の学生の諸活動については、新たな取り組みを導入し、効果的に授業につなげている様子
学生の生活環境への支援は行われているか	3	問題なし
保護者と適切に連携しているか	3	保護者会と年度末の保護者アンケートを実施し、保護者の声を聴いている
卒業生への支援体制はあるか	3	卒業後にも様々な声かけを行なっているものの、在校生がメインであり不十分である
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	改善の余地はあるが問題はない
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高等学校の部活サポート(演劇部・放送部)を行うことにより実現させている

<本項目に関する現状>

- 各クラスに担任・副担任をおいており、日々の進路指導にあたっている。定期的に行われる個別相談を実施。長期休暇の間も定期的に LINE 等での活動報告日を設定し生活状況の把握に努めている。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 入学直後に全新入生保護者を対象とした保護者説明会を実施している。また、特殊な業界に対する進路等につき理解を深める事を目的に、保護者との面談希望を行なっている。

6. 教育環境

＜自己採点＞

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できよう整備されているか	3	施設は古く老朽化しているものが多いが、現存する施設・設備・備品・機材は最大限に活かして授業を行なっている
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	問題なし
防災に対する体制は整備されているか	4	定期的な避難訓練等を通して整備されている

＜本項目に関する現状＞

- 専門機材、コンピューター整備状況は、各科のニーズに合わせ年次ごとに課題を割出し、教育効果と効率の両立を目指している。
- 学外のインターンシップ環境に関しては、映像制作系学科はもとより、演技系学科に於いても、県内 TVCM ナレーション、各種司会、行政のイベント支援など、様々な学生活躍の場を創出できている。
- 異文化研修という海外研修旅行を必修科目としている。海外文化や語学、また渡航手段などについても学ぶ機会としている。
- 防災に関しては、年度当初のオリエンテーション期間に、消防署の指導の元、避難・防災訓練の実施を一回実施。また各学科は進級生含め、学校避難指定場所へのコース確認を実施。

7. 学生の受入れ募集

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
学生募集活動は適正に行われているか	4	問題なし
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	「教育広報」の重要性を理解し、教育成果の伝達をメインに学生募集活動を行っている
学納金は妥当なものとなっているか	4	妥当であると考える

<本項目に関する現状>

- 学校の全体像や教育理念をまずは正確に伝え、その上で学科ごとの教育方針・履修イメージ・卒業後の進路を明確に伝えている。
- 特に卒業生の成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。

8. 財務

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	問題ないものとする
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	問題ないものとする
財務について会計監査が適正に行われているか	4	問題ないものとする
財務情報公開の体制整備はできているか	4	問題ないものとする

<本項目に関する現状>

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

9. 法令等の遵守

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	問題なし
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護については慎重で十分な措置が取られている
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	問題なし
自己評価結果を公開しているか	3	問題なし

<本項目に関する現状>

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生へも学生の手引きに記載する形で周知されている。

10. 社会貢献・地域貢献

<自己採点>

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価	学校関係者評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	地域自治体および企業と連携し社会貢献ができています。
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	同上
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	同上

<本項目に関する現状>

- 教育資源の地域・社会還元活動に関しては、①人的資産に於いて「新潟市二十歳のつどい 司会」、「にいがた総踊り 司会」「明和義人祭 司会」出演協力他多数。②施設等に関しては、上映イベント等に於いて、市民団体等へのシアター（映画上映施設）の貸出しなどを行っている。
- ボランティア活動と授業が重なった場合は公欠扱いとして対応するなど、履修状況に支障が無い形での参加に関しては、単位として見つめる等の施策を実施。
- 映画制作系では映画監督を招聘した学内講座に関し、広く一般にも開放した講座とする等の施策を実施。声優・俳優系に関しては、これまでにしていなかった新たなインターンシップの開拓を画策する。